

令和4年の始まり 3学期始業式

新年明けましておめでとうございます。寅年(とらどし)の今年が、細田中34名の生徒、11名の先生方にとって、明るく希望に満ちた年になってほしいと願います。

さて、始業式の話(校長)では、「感謝」「自立」「挑戦」を念頭に各学年のまとめの重要な学期をより充実したものにしてほしいことを話しました。その際に、これから訪れるであろう目の前の困難から逃げず、急がず、焦らず「自分のできることを見つけてこつこつと取り組むことの大切さ」を「ハチドリの一節を参考に話しました。南米のアンデス地方の先住民の話です。松岡君がみんなの前で堂々と読んでくれました。



「ハチドリの一節」 

花が咲いてほしい
鳥の生き物の成虫は飛ぶのに
苦労してほしい
でも、ハチドリは小さい名の、ハチドリは
いったい、ハチドリ
(おもしろい、水のしぐさ、満ちてくると
大の上で飛ぶ、いよいよ)
留まることがあります
「そんなことで一歩前に進んで」
と書いてあります
ハチドリは、ハチドリ
「私は、私にできることをしているだけ」

3年生進路決定の関門 間近に

3年生は、自分の進路決定のための関門が間近になってきました。いよいよ私立高校の入学試験が今月末〔1月26(水)～27日(木)〕に迫っています。試験に向けて、朝から真剣に学習に臨む姿が見られます。そんな中、1・2年生から3年生への「合格祈願メッセージ」が掲示されています。

これからさらに大変な時間を過ごすことになる3年生。みんなの思いを胸に頑張ってください。



校長のひとりごと・・細田中学校が地域のど真ん中で輝く年でありますように

年末、初めて私は JR 日南線を使って日南駅から南郷駅に行きました。その途中、車窓から見える景色に目を奪われました。当たり前ですが、見る角度やタイミングで車から見る景色と違って見え、油津や大堂津、そして南郷の海岸線の美しさを再確認しました。そして新年。いつも細田中学校を応援して下さる、本校出身の松田先生から右のような年賀状が届きました。

ふるさとを愛する気持ちが溢れんばかりに感じられる年賀状には、いつものように本校を応援して下さる言葉がありました。本当に有り難いです。

細田中が地域のど真ん中で輝くように、見る角度やタイミングを変えながら本校の良さを再度発信していこうと思います。生徒の良さや職員の頑張りを保護者や地域の方々に理解していただき、「細田中でよかった」と言ってもらえる学校づくりを今年もしていきたいと思っています。



本年もよろしくお祈りします。